

【このニュースレターは、過去に弊社にご連絡いただいた皆様、過去に弊社と名刺交換をさせていただいた皆様、あるいは公開情報からのご連絡先を取得した皆様にお送りしています。当ニュースレターの配信停止をご希望の場合は、hiwatashi@luoda.jp までメールにてご連絡ください。】

メルマガのバックナンバーは、こちらからお読みいただけます！

<https://luoda.jp/mailmagazine/>

【第 8 号メルマガ】：サステナブルな展示会と長期滞在化の波 ～2026-2027 年の最新トレンドから掴む、国内外の確実な商談成約術

いつも大変お世話になっております。

合同会社 Luoda（ルオダ）の樋渡 知博（ひわたし ともひろ）です。

今日もメルマガをご開封いただき、誠にありがとうございます。

2026 年の折り返しを迎え、国内外のビジネス出張や MICE（見本市・展示会）市場は、単なるコロナ禍からの「回復」を完全に超え、1 兆ドル規模（約 160 兆円）の巨大市場へとさらなる再成長を続けています。

（注：1 兆ドルとは、現在の国内外ビジネス出張および MICE イベント市場の経済波及効果を含む市場の規模を指しています。/調査機関（GBTA：グローバルビジネス旅行協会や大手リサーチ企業による最新の統計・予測データ）

しかし、市場が活況を呈する一方で、バイヤー側が求める基準や出展社側の実務には、2026 年後半から 2027 年にかけて劇的な構造変化が起きています。それは、「ただリアルで集まる」ことから、「環境への配慮（サステナビリティ）を満たしつつ、1 回の出張における滞在時間と商談の密度を最大化する」という方向へのシフトです。

本日は、過去のメルマガで触れた手法から一歩進め、今世界で起きている最新の地殻変動を交えた「展示会実務」「最新ニュース」、そして次なるターゲットとなる「厳選展示会」の情報をお届けします。

1. 【展示会実務の要点】：最新トレンドから逆算する国内外の「高密度商談」の進め方

【結論】2026 年後半からの展示会実務において最も重要なのは、バイヤーの「滞在時間の長期化（ビジネス+レジャー）」と「効率的なタイムパフォーマンス」を同時に満たす、事前・事後のデジタルフォローとリアル商談の完全な融合です。

- **実例 1：国内製造業の展示会実務（西日本市場）のポイント：「周辺技術・ニッチ素材」ハターゲットを絞る**

西日本市場の攻略において、大手がひしめく完成品展示会ではなく、「接着・粘着」「表面処理」といった、あらゆる産業の根底を支える「ニッチな加工・部材技術」の専門展が改めて注目されています。2026 年現在のバイヤーは、複数のサプライチェーンリスクを分散させるため、特定の

技術に特化した小規模専門展で、その場で深い技術相談（設計変更や試作の直談判）ができるパートナーを熱望しています。ブースでは製品をただ見せるのではなく、技術仕様書や過去のテストデータを即座に提示できる体制が実務の命運を分けます。

- **実例 2：海外展示会実務のポイント：グリーン認証・サステナブル仕様のブース構築が「足切り」の基準に**
アジアや欧州の最新見本市では、出展社に対して「ゴミの削減」「省エネインフラの活用」を義務付ける、または推奨する動きが標準化しつつあります。海外バイヤー（特に大手調達担当者）は、企業の ESG（環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の 3 つの英語の頭文字をとった言葉）姿勢も同時に評価しているため、ブースの装飾資材にリサイクル可能素材を使用しているか、紙のパンフレットを廃止して QR コードでのデジタル配布に一元化しているかといった「環境配慮の実務」が、商談のスタートラインに立つための必須条件となりつつあります。これは、いまのところ日本の中小企業にとっては難度が高い条件です。

2. 【展示会ニュース】：2026-2027 年に向けたグローバル MICE 市場の爆発的成長と最新動向

【結論】 世界のイベント MICE 市場は、2026 年から 2033 年にかけて年平均 8.6%という非常に高い成長率で拡大を続けると予測されており、特にアジア圏（シンガポール・日本等）でのホテル・イベントスペースの需要逼迫とプレミアム化が進んでいます。

- **海外ニュース：ホテルやイベントスペースの「プレミアム化」と滞在長期化**

最新の市場レポートによると、2026 年はホテルのオペレーター約 90%がさらなる増収を予測しています。これは、展示会に参加する海外視察団（交渉代表者・バイヤー）の滞在期間が長期化し、1 回の渡航でより多くのビジネスと現地の体験を消化しようとする傾向（ビジネス出張の長期化トレンド）が強まっているためです。

これにより、会期中だけでなく、会期後の個別アプローチや現地アテンドの重要性がこれまで以上に高まっています。いわゆる**【おもてなし力】**が問われる時代になってきました。

- 参照 URL（シンガポール・アジア MICE 動向）：[Outlook of Singapore's MICE Event Space for 2026 and 2027 - Global Asia Printings](#)
- 参照 URL（世界の MICE 市場予測）：[MICE 市場規模・シェア・動向分析レポート 2026-2033 - グローバルインフォメーション](#)

- **国内ニュース：【JAPAN MICE Challenge 2027】の始動と次世代へのバトンタッチ**

日本国内でも、一般社団法人日本コンベンション協会（JCMA）などが主導し、2027 年に向けた大規模な MICE 業界の活性化プロジェクト「JAPAN MICE Challenge 2027」（<https://smartconf.jp/content/jmc2027>）の開催が決定するなど、官民を挙げた次世代 MICE(注 1)のインフラ・人材育成の動きが加速しています。単なる地方誘致ではなく、地域の産業およびレガシーと MICE をどう結びつけるかが本格的な議論のテーマとなっています。

○

- (注1) MICEとは、ビジネスイベントや国際会議などの総称です。主に観光・ビジネス業界で使われる造語で、「M:Meeting」「I: Incentive 報奨・研修旅行」「C: Conference 国際会議」「E: Exhibition 展示会・イベント」の4つの頭文字から成り立っています
- 参照 URL (国内 MICE 最新プロジェクト) : [JAPAN MICE Challenge 2027 公式サイト](https://www.japanmicechallenge.com/)

3. 【展示会案内】2027年初頭を見据えた、次なる販路開拓のための注目すべき見本市のご紹介

これからの販路開拓において、過去のメルマガでご紹介した展示会とは異なる、2027年に向けて今から準備を進めるべき東西の有力プラットフォームをご紹介します。

① 西日本（国内）エリア：【接着・粘着技術展 2027】（大阪）

<https://www.sansokan.jp/syodankai/>

自動車の軽量化、エレクトロニクスの高密度化、住宅建材のエコ化など、現代のものづくりにおいて最も需要が高まっている「異材質接合」や「環境配慮型粘着」に特化した、大阪産業創造館主催の超高効率な BtoB 専門展示会です。

- **会期**： 2027年1月29日（金）
- **会場**： 大阪産業創造館
- **特徴・推薦理由**：
産創館のスケジュールにおいて、2027年の幕開けを飾る注目の専門展です。来場者は「既存の溶接・ネジ留めから接着へ切り替えたい」「過酷な環境でも剥がれない特殊な粘着剤を探している」といった、極めて具体的なミッションを持った製造業の設計・開発者です。規模はコンパクトですが、冷やかし客が一切おらず、1日限定の開催だからこそ、意思決定スピードの極めて速い密度の濃い商談が展開されます。
- **申込受付時期**：
出展申込：開催日の4か月前（2026年9月下旬頃）から受付開始予定。
事前の出展審査あり。
- 来場申込：開催日の2か月前（2026年11月下旬頃）から受付開始予定
- **詳細・申込ウェブサイト**： [大阪産業創造館 展示・商談会一覧](#)

② 海外（アジア）エリア：シンガポールで魅せたアジア最高峰の食品統合国際見本市

大成功を収めている海外の人気食品国際見本市をご紹介します。

■ FHA Food & Hospitality Asia 2026（フード&ホスピタリティ・アジア）

<https://www.foodnhotelasia.com/>

会期： 2027年4月20日～23日

会場： シンガポール EXPO（Halls 1-10）

規模： 115カ国以上から2,750社以上が出展、来場ビジネスバイヤー80,000人以上

【この展示会が示した、2026年の絶対的トレンド】

2026年、本イベントはこれまでの歴史を塗り替え、「FHA-Food & Beverage（食品・飲料）」と

「FHA-HoReCa（ホテル・レストラン・カフェ設備）」、さらにワインや最先端フードテックをすべて「ワンルーフ（統合開催）」に集約しました。

【製造業と食品業の交差点：新エリア『FutureFWD』の衝撃】

食品の展示会でありながら、今年の開催で最も注目を浴びたのは次世代技術に特化した『FutureFWD（フューチャー・フォワード）』エリアです。ここでは、食品業向けに以下のような「製造業・IT 技術の枠組み」がダイレクトに実装され、クロスボーダー（異業種同士）の商談が飛び交いました。

- **自動化・ロボティクス：** 人手不足を解決する「自動化厨房ロボット」や「無人パッキングライン（製造技術）」。
- **フィジカル AI・バイオメトリクス：** 生体認証決済や、AI アシストによる店舗・工場の自律運用ソリューション。
- **サステナブル素材：** 欧州連合（EU）パビリオンなども猛烈にプッシュした、環境負荷の低い次世代パッケージ（包装成形技術）。

アジアの食品市場は 2034 年までに **3.3 兆ドル**に達すると予測されており、そこへ向かうための「製造技術」と「食そのもの」が完全に融合したのが、このシンガポールの舞台です。

東北から西日本、そしてアジアへ

巨大な 1 兆ドル市場のトレンドは、東京を飛び越えて、関西・九州といった西日本の有力な専門展、そしてシンガポールを中心とするアジアへとつながっています。

「自社の技術は製造業向けだから、食品展は関係ない」
「うちは食品メーカーだから、機械のことはわからない」
「西日本市場は遠いから、よくわからない」

こうした縦割りの発想のままでは、これからの市場で置いていかれてしまいます。弊社 Luoda は、国内外で培った 24 年の経験をもとに、こうした新時代に即した「業界の融合」を先読みした出展戦略から、現地での英語による折衝・アフターフォローまでをトータルでサポートいたします。

次の一手として、市場のどの「結節点」を狙うべきか。ご興味のある方は、ぜひ一度お気軽にご相談ください。

東北・地方から、変わり続ける世界市場の主戦場へ

弊社合同会社 Luoda は、国内外の見本市・展示会業界に 24 年携わってきた経験をもとに、2026 年から 2027 年にかけて最新のトレンド（サステナブル MICE への対応や、長期滞在化するバイヤーへの個別アプローチ）に最適化した出展支援を行っております。

「2027 年こそは西日本や海外への本格的な販路開拓を行いたい」

「これまでの展示会出展のやり方では成果が出なくなってきた」

と、感じられている企業や自治体の皆様、変わりゆく市場で勝つための「最新の方程式」を、弊社のリソースとネットワークを使って現場に実装してみませんか？

どのような些細なご相談でも、お気軽に弊社までお問い合わせください。

本日もお読みいただきありがとうございました。
今週も皆さんにとって沢山良きことがありますように！

このメルマガの内容の転載は、大歓迎です。ご感想・ご意見も大歓迎です。
このメールにご返信いただきましたら、私に届きます。

メルマガのバックナンバーは、こちらからお読みいただけます！
<https://luoda.jp/mailmagazine/>

メルマガの購読をやめたいときは、hiwatashi@luoda.jp までご連絡をお願い致します。

【無料相談・お問い合わせ窓口】

本メールへのご返信、または下記アドレスまでご連絡をお待ちしております。

E-mail: hiwatashi@luoda.jp (担当：樋渡)

合同会社 Luoda (ルオーダ) 代表社員：樋渡 知博 (Tomohiro Hiwatashi)

【事業内容】国内・海外展示会フルサポート支援、西日本・海外販路開拓コンサルティング、
MICE 新規企画開発、海外業務アウトソーシング

【実績紹介】元ハノーバーメッセ日本代表事務所代表・元ハノーバーフェアーズジャパン シニアマネージャー
/日本初の専門展「オリブオイル関西」企画開発・運営

お問い合わせ・配信停止：hiwatashi@luoda.jp

© 2026 Luoda LLC. All rights reserved.